

2016年3月期
(2015年度)

第1四半期
決算概要

RICOH
imagine. change.

2015年8月6日
株式会社リコー



*A4モノクロ複合機/プリンターのラインアップを一新
省スペースながら、生産性と環境性能を向上
(写真: RICOH SP 4510SF)

本資料に記載されている、リコー(以下、当社)現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から
得られた当社の経営者の判断に基づいております。

従って、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合がありますので、これら業績見通しにの
み全面的に依拠なさらないようお願い致します。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、a) 当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景
気動向、b) 為替レートの変動、c) 当社の事業領域に関連して発生する急速な技術革新、
d) 激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品・サービスを当社が設計
・開発・生産し続ける能力、などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに
限定されるものではありません。(参照:「事業等のリスク」www.ricoh.com/ja/IR/risk.html)

本資料に他の会社・機関等の名称が掲載されている場合といえども、これらの会社・機関等
の利用を当社が推奨するものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。
投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

*当連結会計年度より、一部のリース取引を総額表示から純額表示に変更しております。
これに伴い、該当する過去の売上実績、またこれに関連する指標・数値については遡及表示しております。

- ✓ 売上高:5,391億円、前年同期比+6.4%増収
カラーMFP、PP、海外ITサービス、産業分野の売上が拡大
- ✓ 営業利益:206億円、前年同期比▲23.9%減益
製品拡販を積極的に進めたことと、
成長のための体制拡大費用増などによる
- ✓ 当期利益129億円、前年同期比▲13.9%
- ✓ 通期利益見通しは変更なし
市場稼働台数は着実に増加、ノンハードも継続改善見込む
- ✓ 配当予定も変更なし

※P.3の指標も合わせて参照ください

- 2016年3月期第1四半期決算について
- 売上高は、5,391億円(前年同期比+6.4%)の増収となりました。
- 為替レートはドルが円安、ユーロが円高に効き、全体では円安効果が得られました。
- 売上高は為替影響を除くと、+1.2%の増収(内訳:日本-3.1%減収、海外+3.7%増収)となりました。
- カラーMFP、PP(プロダクションプリンター)、海外ITサービス、産業分野で売上高が拡大しました。
- MFPは全世界で伸長し、シェアが上昇しました。
- PPは前期投入した新製品が好調に拡大しています。
- 日本の減収は、前年のIT特需の反動減による影響を受けました。
加えて、前年1Qには譲渡した三愛の事業が含まれていました。
- 米州は、4-5月は港湾ストの影響が若干残っていたが、6月からは戻り始めました。
- 欧州は、売上高の回復が持続しています。
- その他は、2桁成長を継続しています。
- 営業利益は、206億円(前年同期比-23.9%)の減益となりました。
- 製品拡販を積極的に進めたことと、成長のための体制拡大費用増などによるものです。

(次ページに続く)

	FY16/03 Q1実績	前年同期比	
売上高	5,391億円	+6.4%	為替除く売上高 前年同期比
営業利益	206億円	▲23.9%	日本 ▲3.1%
営業利益率	3.8%	▲1.6pt	米州 ▲0.4%
四半期利益 <small>(親会社の所有者に帰属)</small>	129億円	▲13.9%	欧州 +5.7%
EPS	17.91円	▲2.89円	その他 +10.8%
FCEF *	11億円	▲184億円	合計 +1.2%
研究開発投資	270億円	▲8億円	
設備投資 <small>(有形固定資産)</small>	205億円	+23億円	
減価償却費 <small>(有形固定資産)</small>	173億円	▲1億円	
平均為替レート	1USドル	121.31円	+19.16円
	1ユーロ	134.22円	▲5.91円

*FCEF (Free Cash flow Excluding Finance business) :ファイナンス事業を除くフリーキャッシュフロー

August 6, 2015

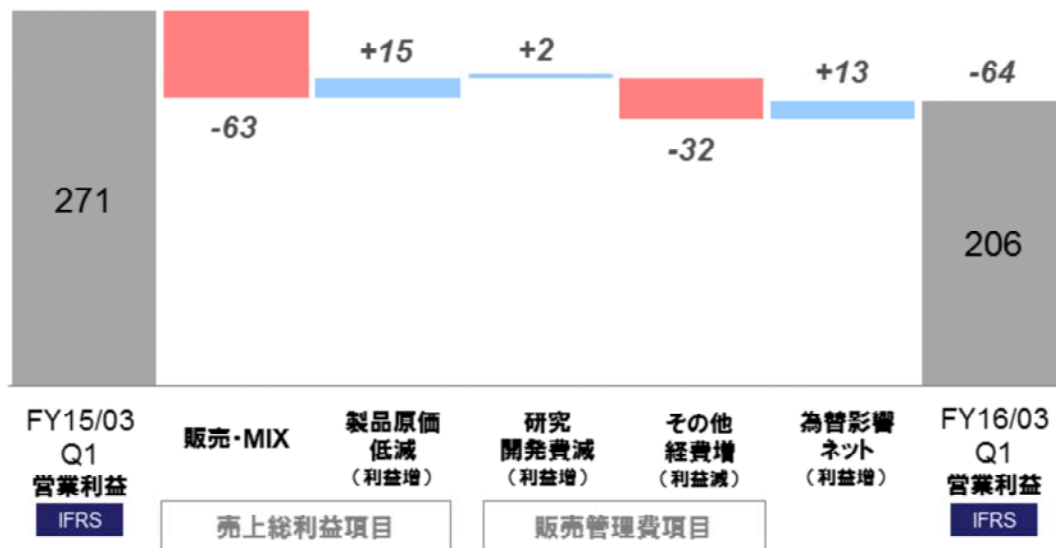
(C)2015 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

3

(前ページから続く)

- 親会社の所有者に帰属する当期利益は、129億円(前年同期比-13.9%)の減益となりました。
FCEF(ファイナンス事業を除くキャッシュフロー)は、11億円の収入を確保しました。
研究開発費、設備投資などは予定通りの支出となりました。
- 1Qの結果を踏まえ、通期利益の見直しに変更はありません。
市場稼働台数は着実に増加しており、ノンハードも継続して改善すると見込んでいます。
加えて、産業分野の収益拡大、その他分野の利益拡大も予定通り進んでいます。
- 配当予定についても変更はありません。

(単位:億円)



- 1Q営業利益は、前年同期から64億円マイナスの206億円となりました。

<販売・MIX>

- 販売は、63億円の減益となりました。
これは、MIF(Machine In Field: 市場稼働台数)拡大施策の展開を加速したことで、製品ミックスが変化することで粗利が減少したためです。
合わせて、ノンハード売上減少による粗利の減少もありました。

<製品減価低減>

- 製造原価低減の活動で、15億円の利益を創出しました。

<研究開発費>

- 研究開発費は、2億円の利益を創出しました。

<その他経費>

- その他経費は、前年同期比で32億円増加していますが、予定通りの支出です。
サービス事業や新興国の販売体制強化、またM&Aの影響によるものです。

<為替影響>

- 為替による増益効果の影響が13億円ありました。

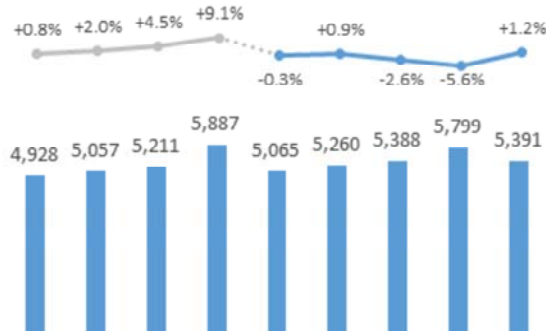
- 全体として、1Q営業利益は、為替効果はあったものの、ハードの粗利減により減益となりました。



連結

売上高

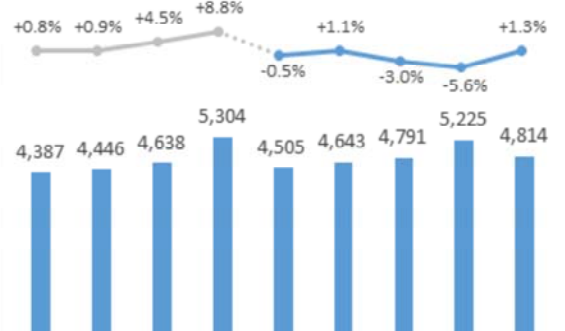
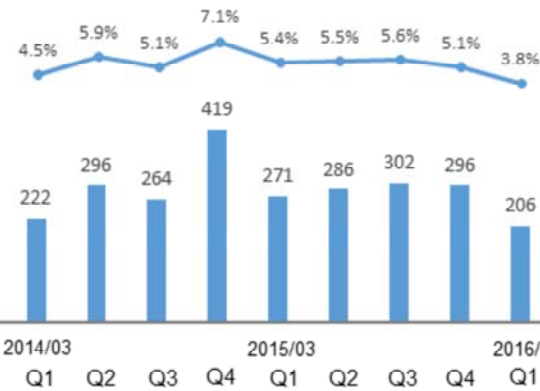
■ 売上高(億円)
● 前年同期伸び率
(為替除く)



画像&ソリューション

営業利益

■ 営業利益(億円)
● 営業利益率

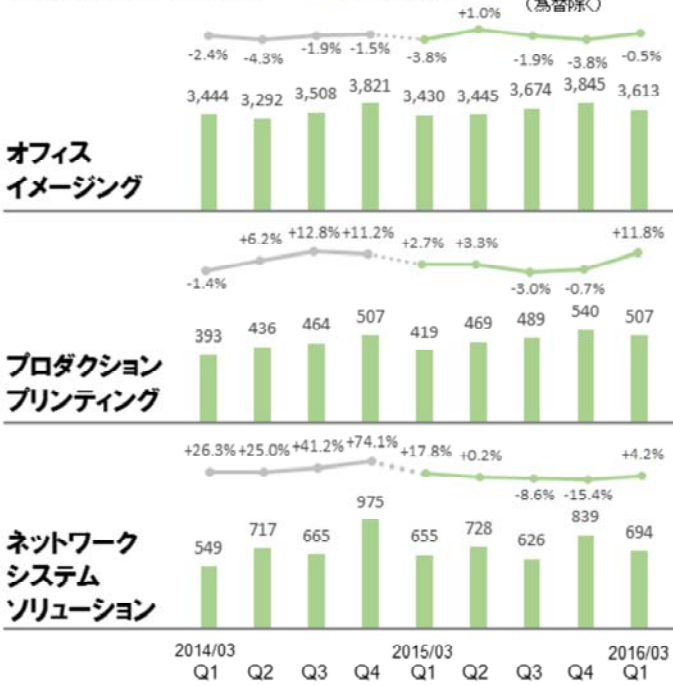


<画像&ソリューション>

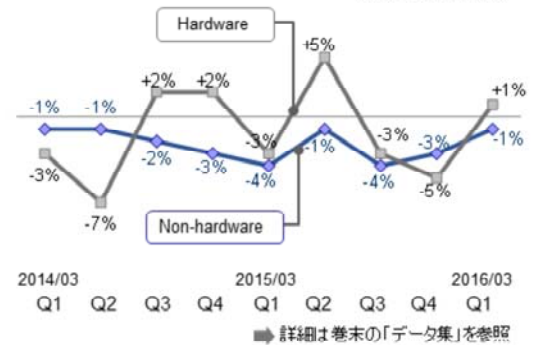
- 1Q売上高は、4,814億円の増収、為替除くと+1.3%の増収となりました。欧州、その他地域が牽引した結果です。
- MIF拡大施策の展開や製品ミックスの影響によるハードの粗利率低下などにより減益となりました。



製品分野別売上高



【MFP・プリンタ・PP計 売上高前年同期伸び率推移】
(金額ベース、為替除)



【主要製品・サービス 売上高前年同期伸び率】
(金額ベース、為替除)

<FY16/03 Q1>	モノクロ	カラー
MFP	-15%	+3%
LP	+17%	-5%
カットシートPP	-1%	+26%
サービス事業	+8%	

(ドキュメント、ITサービス *PCハード除)

August 6, 2015

(C)2015 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

<オフィスイメージング>

- 1Q売上高は、3,613億円(前年同期比-0.5%)の減収となりました。
- 日本は、カラーMFPが伸長しましたが、モノクロMFPの減収分をカバーできませんでした。ただし、プリンタの消耗品が増加し、分野としては微増収でした。
- 海外は、欧州・アジアでカラーMFP、A4機が拡大しましたが、米州で4-5月にA3MFP販売の立ち上げが遅れ、微減収となりました。

<プロダクションプリンティング>

- 1Q売上高は、507億円(前年同期比+11.8%)の増収となりました。
- 前期後半から投入した新製品が堅調に拡大し、2桁の増収となりました。カラーIJ(インクジェット)機、ハイエンドカラーCS(カットシート)機、ミッドレンジカラーCS機の販売が引き続き好調に推移しています。

<ネットワークシステムソリューション>

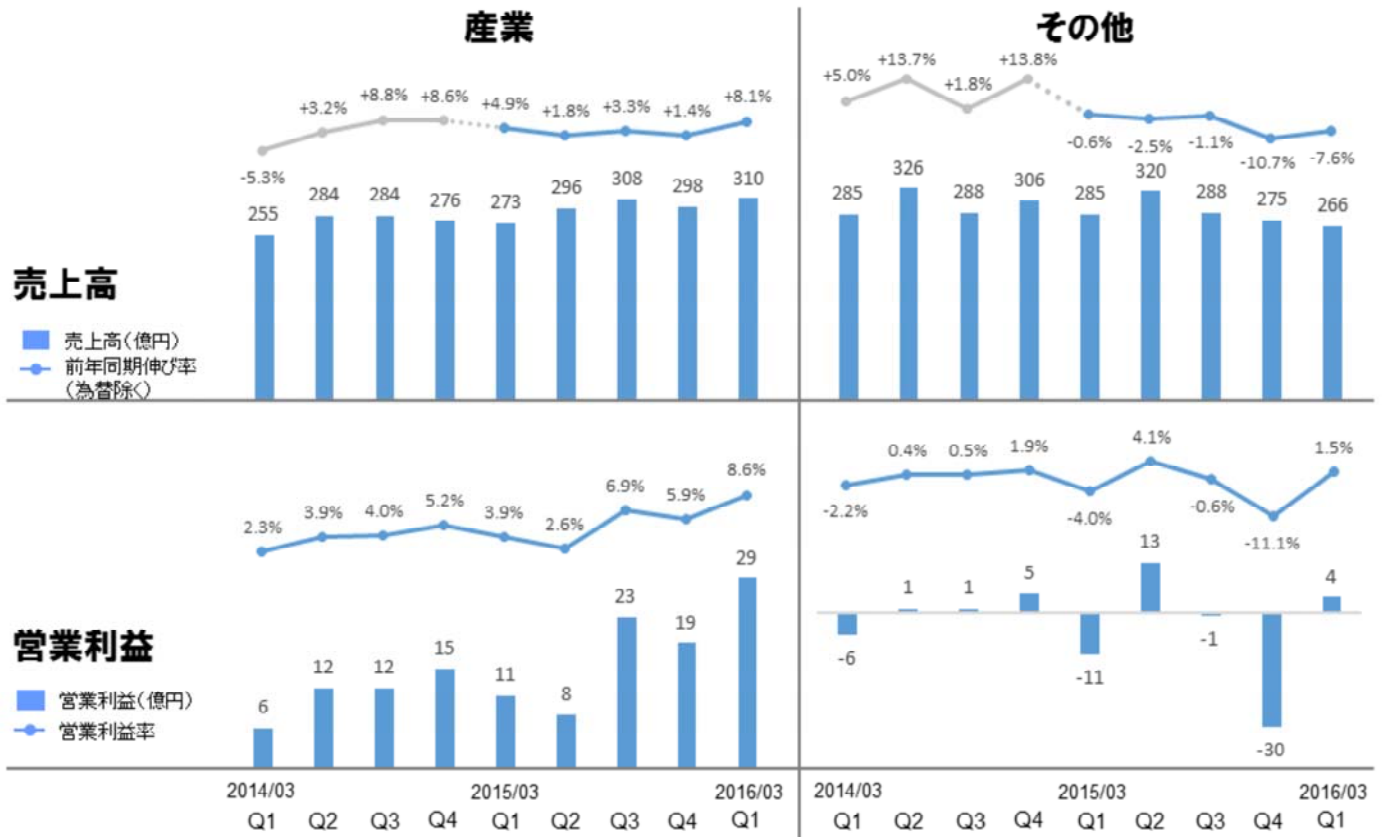
- 1Q売上高は、694億円(前年同期比+4.2%)の増収となりました。
- 日本は、前年IT機器特需の反動減で大きく減収となりました。
- 海外は、欧州・アジアのITサービス事業が高い成長を継続しています。

<ハード・ノンハード推移>

- ハードは、PPハードの伸びが牽引し、+1%となりました。
- ノンハードは、-1%となり継続して改善しています。LP(レーザプリンター)、PPノンハードの増加が牽引しました。PPを中心に伸ばすことで、下期プラス転換に向けて順調に推移しています。

<主要製品・サービスの伸び率>

- 戦略的に注力している製品・サービス(カラーMFP・カラーCS・サービス事業)は堅調に拡大を継続しています。



August 6, 2015

(C)2015 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

<産業分野>

- 売上高は増収基調を維持し、1Qで+8.1%の増収。サーマル、半導体、IJ事業の増収が牽引しました。
- 営業利益率8.6%、営業利益29億円で、前年から大幅な増益となりました。
- サーマル(感熱紙)では、海外の食品表示ラベルの需要が各地域で拡大しました。
- 半導体は、携帯端末用電源ICが堅調に推移しました。
- IJも産業用IJヘッドビジネスが好調に推移しました。

<その他分野>

- 売上高は-7.6%と減収ですが、これは三愛の売却の影響によるものです。
- 営業利益は前年同期比で大幅に改善し黒字に戻っています。
- カメラは高付加価値の高級機やTHETAが好調に推移し、増益に貢献しました。

資産の部

(単位:億円)	2015年6月末	15/03末比 増減額
流動資産	12,638	+474
現金及び預金	1,505	+119
営業債権及びその他の債権	5,622	+86
その他の金融資産	2,686	+85
棚卸資産	2,323	+78
その他の流動資産	500	+104
非流動資産	15,425	+287
有形固定資産	2,804	+37
のれん及び無形資産	4,417	+59
その他の金融資産	6,169	+151
その他の非流動資産	2,035	+38
資産合計	28,064	+762

負債及び資本合計の部

(単位:億円)	2015年6月末	15/03末比 増減額
流動負債	7,732	+10
社債及び借入金	2,296	+75
営業債務及びその他の債務	2,555	△214
その他の流動負債	2,880	+149
非流動負債	8,511	+473
社債及び借入金	6,145	+459
退職給付に係る負債	1,439	△2
その他の非流動負債	926	+15
負債合計	16,243	+484
親会社の所有者に帰属する 持分合計	11,110	+268
非支配持分	710	+9
資本合計	11,820	+277
負債及び資本合計	28,064	+762
有利子負債合計	8,441	+535

(15/03末比増減)
(参考) 期末日為替レート: US\$ 1 = ¥ 122.45 (+ 2.28)
EURO 1 = ¥ 137.23 (+ 6.91)

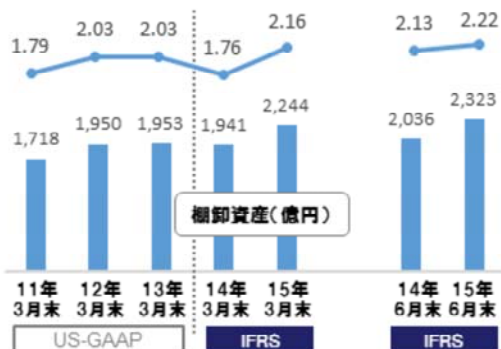
<総資産>

- 総資産は、2兆8,064億円で762億円増加しましたが、円安の影響による資産価値の嵩上げが370億円程度ありますので、これを除くと390億円の増加になります。

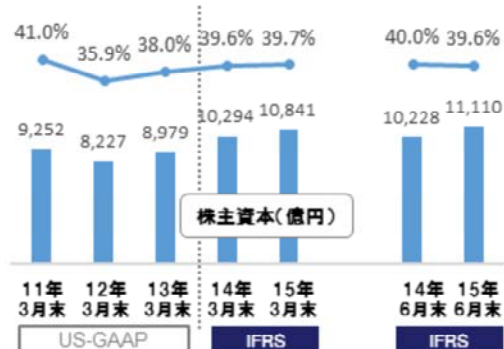
<棚卸資産>

- 棚卸資産は、78億円増加しています。
- 4Qで説明した北米の港湾スト影響による在庫は解消し始めていますが、欧州やアジアでかなり大きな商談があり、この準備在庫形成のための一時的な増加がありました。

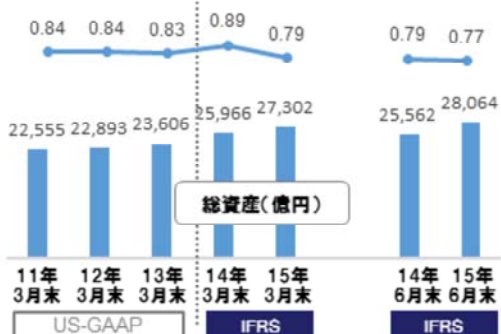
棚卸資産回転期間(月数)



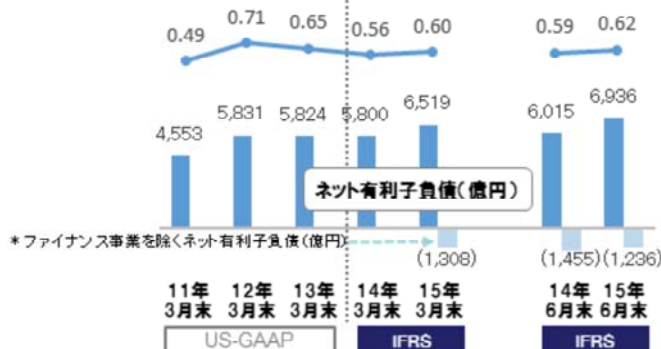
親会社所有者帰属持分比率(株主資本比率)



総資産回転率(一ヶ月平均回数)



ネットD/Eレシオ(比率)



*リース取引表示方法の変更に伴い、2014年6月末、2015年3月末の棚卸資産回転期間、総資産回転率を遡及表示しております。

August 6, 2015

(C)2015 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

9

<棚卸資産回転期間>

- 棚卸資産回転期間は2.22ヶ月と前年同期に比べ若干上回っているが、コントロールできている状態にあります。

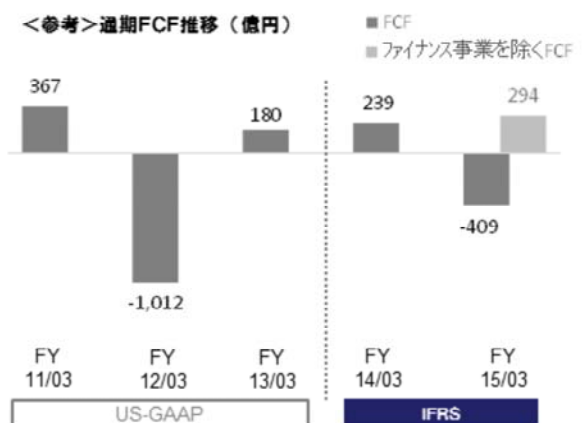
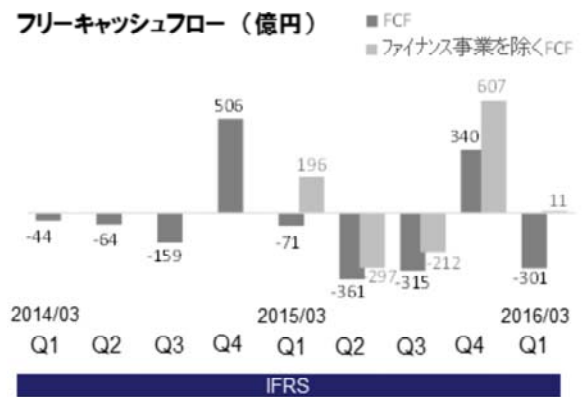
<株主資本比率>

- 株主資本比率は39.6%で、我々が目指している40%の領域に留まり、維持できています。

<ネットD/Eレシオ>

- ネットD/Eレシオは0.62倍でしたが、ネット有利子負債は6,936億円で前年度末から若干増加しています。
- これはファイナンスビジネス拡大による増加が主な要因で、ファイナンスビジネスを除くネット有利子負債は、-1,236億円でネットキャッシュの状態にあります。

(単位：億円)	IFRS	IFRS
	FY2015/03 Apr-Jun	FY2016/03 Apr-Jun
当期利益	164	143
減価償却費	266	264
[当期利益+減価償却費]	[430]	[408]
その他の営業活動	-228	-404
営業活動によるキャッシュフロー	201	3
有形固定資産の購入および売却	-180	-205
事業の買収	-25	-3
その他の投資活動	-67	-96
投資活動によるキャッシュフロー	-273	-305
有利子負債の純増減	-4	518
支払配当金	-119	-123
その他の財務活動	-3	-4
財務活動によるキャッシュフロー	-127	391
換算レートの変動に伴う影響額	-15	30
現金及び現金同等物の純増減額	-214	120
現金及び現金同等物期末残高	1,185	1,497



- 営業C/Fは前年同期比で198億円支出が増加し、投資C/Fも前年同期比32億円ほど支出が増加し、FCFは301億円の支出となりましたが、ファイナンス事業を除くFCFは11億円の収入でキャッシュは稼いでいます。



■2016年3月期 第1四半期

※ファイナンス事業:国内、海外で展開するファイナンス事業

①損益計算書 (単位:億円)

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
売上高	5,391	5,242	330
営業利益	206	133	73

②財政状態計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
資産	28,064	19,562	10,783
ファイナンス事業債権	8,791	0	8,791
負債	16,243	9,399	9,125
有利子負債	8,441	1,866	8,344
資本合計	11,820	10,163	1,657
ネット有利子負債	6,935	Δ1,236	8,286

③キャッシュフロー計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
フリーキャッシュフロー	Δ301	11	Δ312

<経営指標>

	連結	製品・サービス事業
親会社所有者帰属持分比率	39.6%	51.9%
有利子負債比率(DELシオ)	76.0%	18.4%
総資産回転率	0.77	1.08

参考情報です。一部項目に概算の情報が含まれます。

- 国内外のファイナンス事業と製品・サービス事業に分けた財務情報です。
- ネット有利子負債はほぼファイナンス事業のために使われており製品サービスではネットキャッシュの状態にあります。
- FCFでもその支出は基本的にはリース債権の増加に使用されています。

(単位: 億円)	IFRS		前年比較		
	FY2015/03 実績	FY2016/03 見通し	金額差	伸び率	為替影響 除く伸び率
売上高	(国内) 7,595	8,000	+405	+5.3%	+5.3%
	(海外) 13,918	15,200	+1,282	+9.2%	+5.9%
	合計 21,514	23,200	+1,686	+7.8%	+5.7%
売上総利益	9,069	9,730	+660	+7.3%	
(対売上高%)	42.2%	41.9%			
販売費&一般管理費	7,911	8,330	+418	+5.3%	
(対売上高%)	36.8%	35.9%			
営業利益	1,157	1,400	+242	+20.9%	
(対売上高%)	5.4%	6.0%			
税引前利益	1,122	1,350	+227	+20.2%	
(対売上高%)	5.2%	5.8%			
当期利益(親会社の所有者に帰属)	685	830	+144	+21.1%	
(対売上高%)	3.2%	3.6%			
一株当たり当期利益	94.58	114.50	+19.92		
為替レート	円/1US\$ 109.89	120.33	+10.44		
	円/1EURO 138.85	127.31	-11.54		

<投資関連>

(単位: 億円)	FY15/03 実績	FY16/03 見通し
研究開発投資	1,187	1,280
売上高比率	5.5%	5.5%
設備投資	759	900
減価償却費 (有形固定資産)	709	740

<FY16/03 為替レート前提>

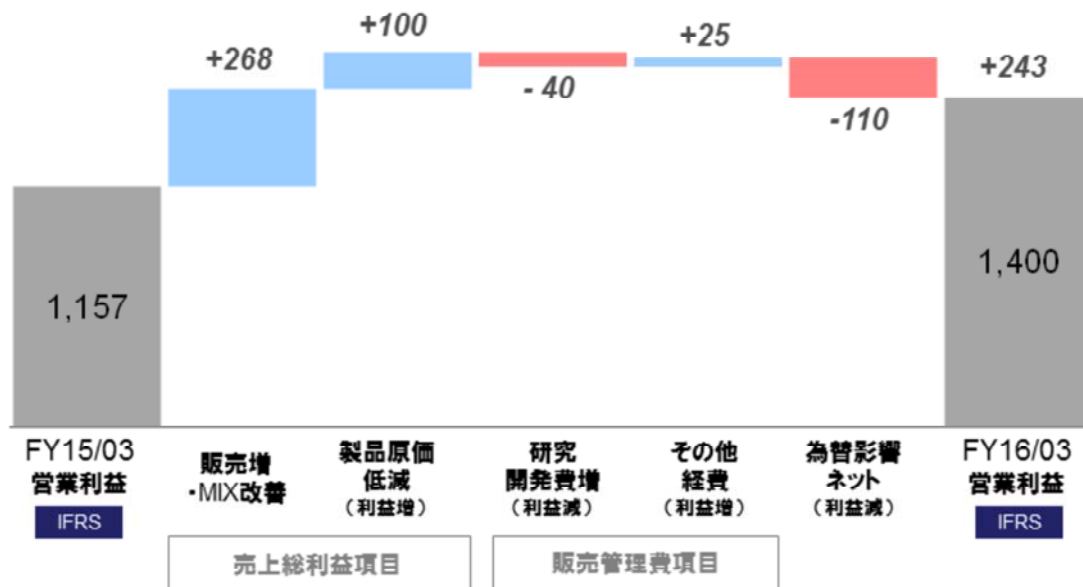
	Q2-Q4	年間
1USD/円	120.00円	120.33円
1ユーロ/円	125.00円	127.31円

- 売上高は、2兆4,000億円から2兆3,200億円に変更しましたが、これはリース関連取引の計上方法を変更したことによるものです。この変更による利益面への影響はありません。見通し公表時と実質的な変更はありません。
- 損益では1Qの社内計画は未達でしたが、様々な施策の展開により、通期営業利益1,400億円は達成できる見込みでいます。加えて、1Qの状況を踏まえて追加の業績改善の施策にも取り組んでおり、1Qの出遅れ分をキャッチアップし、計画を上回るべく取り組んでいます。
- マクロの不透明さは地域別にはありますが、事業の見方を変更するほどではないと考えています。
- 米州は4~5月は出遅れたが6、7月は確実な推移を示しており、欧州は回復を継続し、アジア・パシフィックも堅調な拡大が続くと見えています。
- 戦略的に伸ばす製品の領域でカラーMFP、PP、海外のITサービス、産業分野は確実に伸びていくと見えています。
- 製品の稼働台数も着実に増加しており、画像機器ノンハード伸び率もプラス転換に向けて改善傾向はこのままが続いていくと見えています。



2016年3月期見通し 営業利益前年比増減

(単位:億円)



(参考)為替の前提

(単位:円)	FY15/03 実績	FY16/03 見通し	前年差
USドル	109.89	120.33	+10.44
ユーロ	138.85	127.31	-11.54

(参考)為替影響度

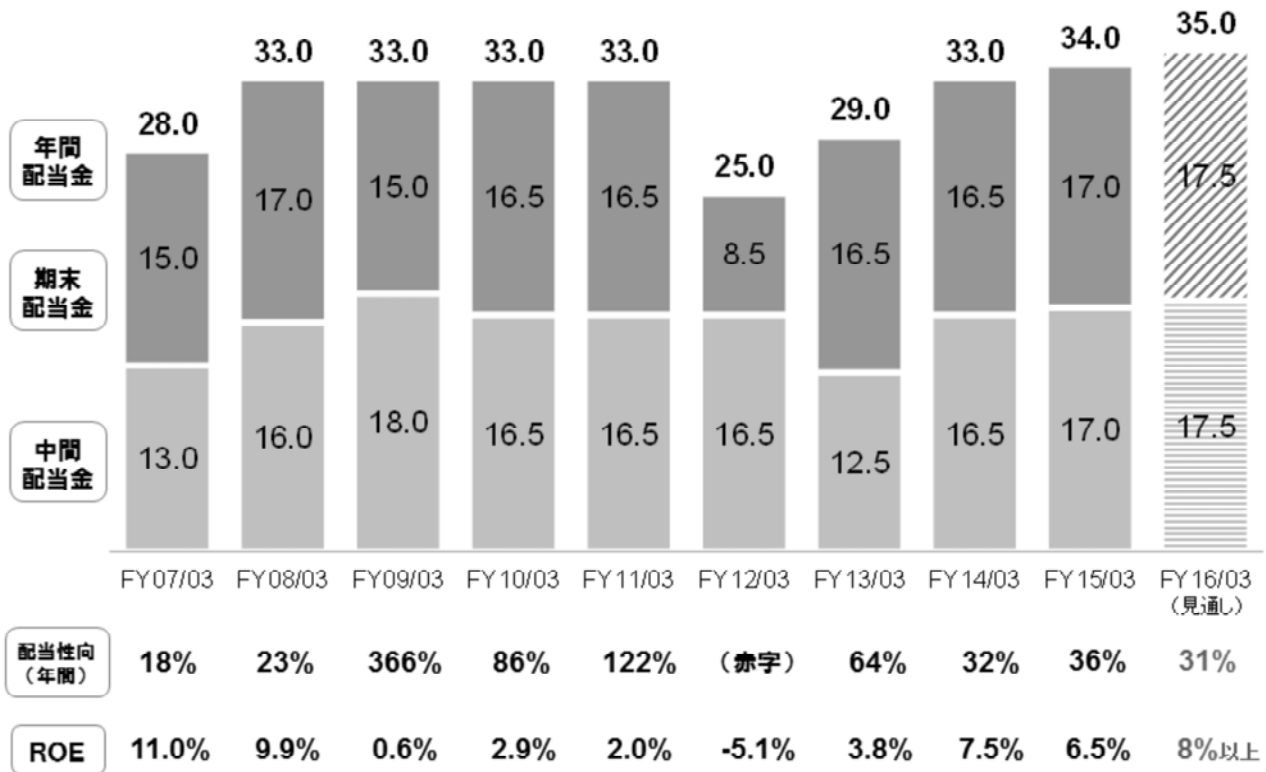
1円の変動による
年間影響額

(単位:億円)	売上	営業利益
USドル	60	8
ユーロ	38	14



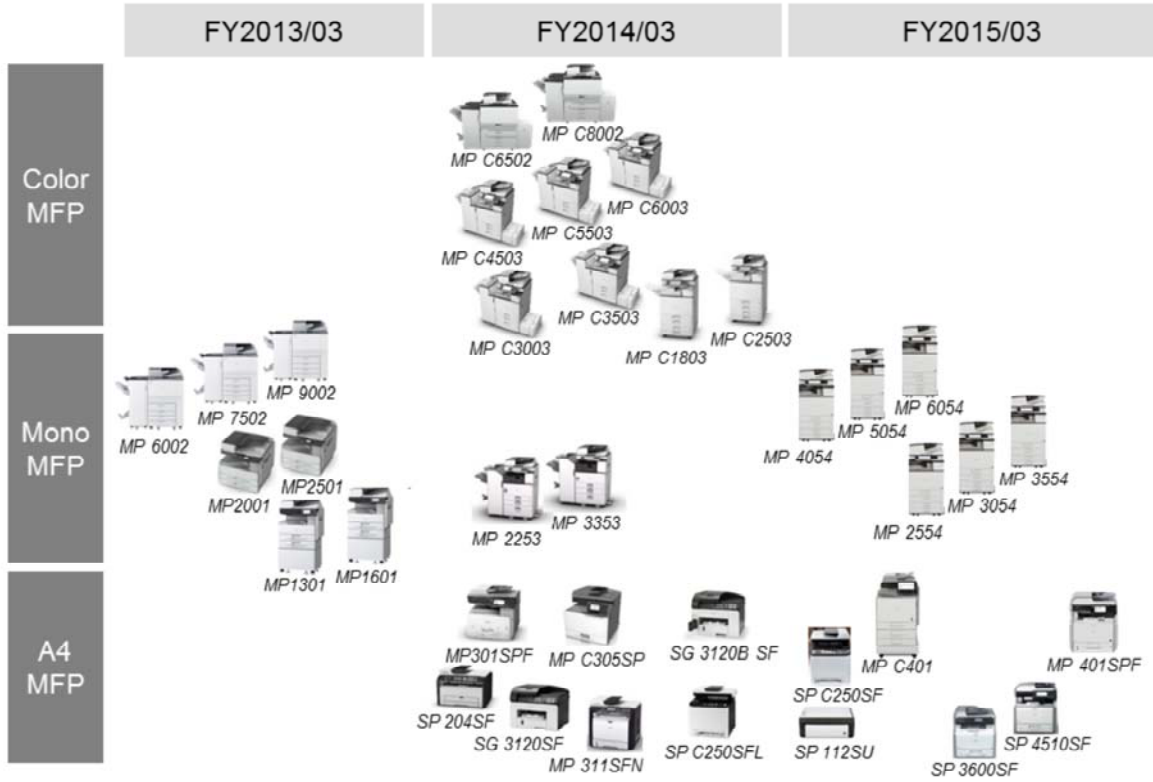
配当金 & ROE推移

(単位:円)



- 通期営業利益の見通しはそのままですので、配当金も当初の見通しの35円を変更しません。
















以降、補足情報





参考◇プロダクションプリンティング 主な新製品投入状況

RICOH
imagine. change.

Color Continuous Form		 <i>InfoPrint5000</i>	 <i>InfoPrint5000VP</i>	 <i>Pro VC60000</i>
Color Cut Sheet	Heavy			 <i>Pro C9110</i>
	Mid	 <i>Pro C900</i>	 <i>Pro C901</i>	 <i>Pro C9100</i>
	Light	 <i>Pro C720</i>	 <i>Pro C751</i>	 <i>Pro C7110S</i>
		 <i>Pro C651</i>	 <i>Pro C5110S</i>	 <i>Pro C7100S</i>
Color Wide Format Inkjet			 <i>MP CW2200</i>	 <i>Pro L4000</i>
		FY09/03 - FY12/03	FY13/03	FY14/03
				FY15/03

2016年3月期 第1四半期 損益計算書

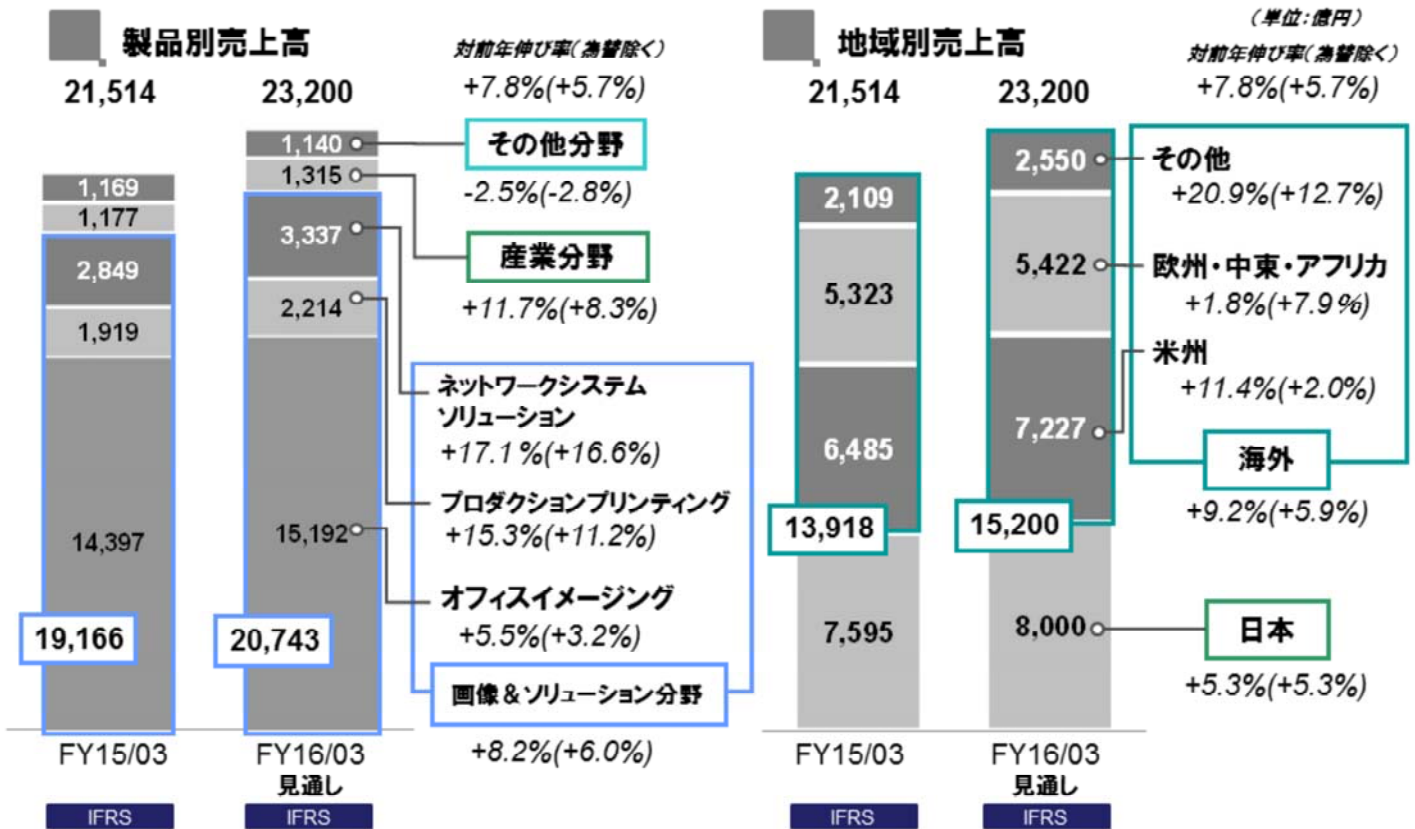
(単位: 億円)	IFRS		前年同期比較		
	FY2015/03 Q1実績	FY2016/03 Q1実績	差	伸び率	為替影響 除く伸び率
売上高					
(国内)	1,855	1,798	-56	-3.1%	-3.1%
(海外)	3,210	3,592	+382	+11.9%	+3.7%
合計	5,065	5,391	+326	+6.4%	+1.2%
売上総利益	2,193	2,248	+55	+2.5%	
(対売上高%)	43.3%	41.7%			
販売費&一般管理費	1,921	2,041	+120	+6.3%	
(対売上高%)	37.9%	37.9%			
営業利益	271	206	-64	-23.9%	
(対売上高%)	5.4%	3.8%			
税引前利益	258	194	-63	-24.6%	
(対売上高%)	5.1%	3.6%			
四半期利益(親会社の所有者に帰属)	150	129	-20	-13.9%	
(対売上高%)	3.0%	2.4%			
一株当たり四半期利益	20.80	17.91	-2.89		
為替レート					
円/1US\$	102.15	121.31	+19.16		
円/1EURO	140.13	134.22	-5.91		

<投資関連実績>

(単位: 億円)	FY2015/03 Q1実績	FY2016/03 Q1実績
研究開発投資	279	270
売上高比率	5.5%	5.0%
設備投資	182	205
減価償却費 (有形固定資産)	174	173

<FY2016/03 Q1為替レート>

	Q1実績	Q1想定
1USドル	121.31円	120.00円
1ユーロ	134.22円	125.00円

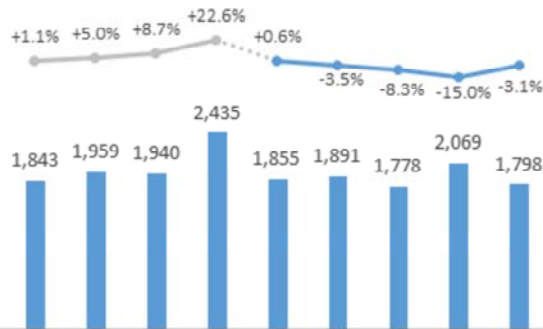




日本

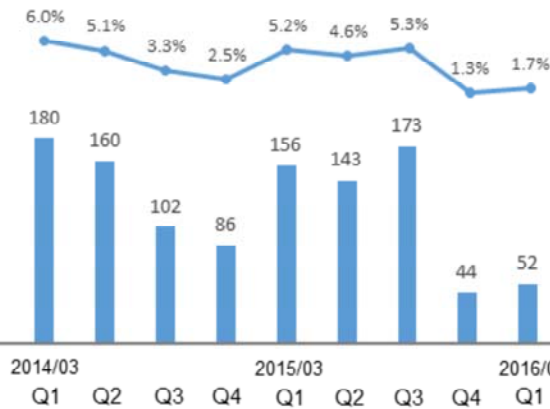
売上高

■ 売上高(億円)
● 前年同期伸び率
(為替除)

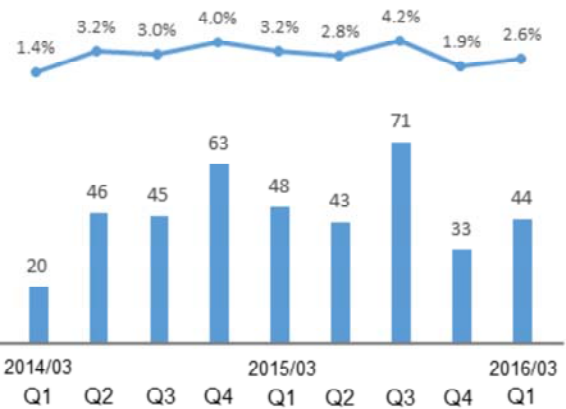
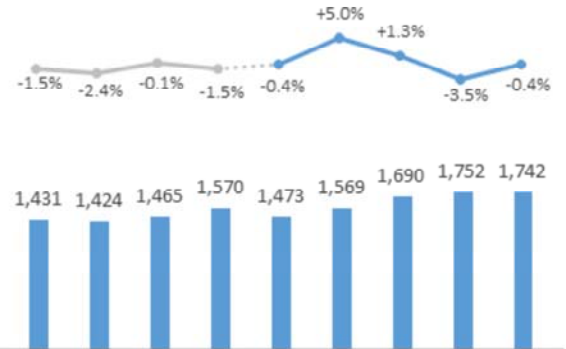


営業利益

■ 営業利益(億円)
● 営業利益率



米州



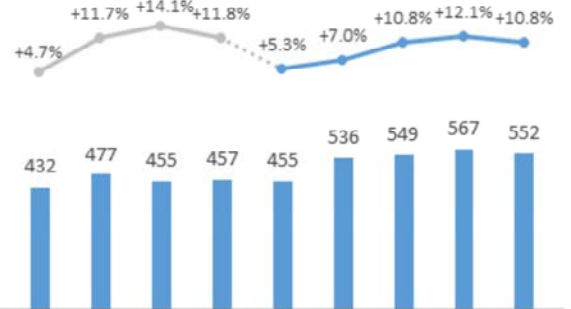
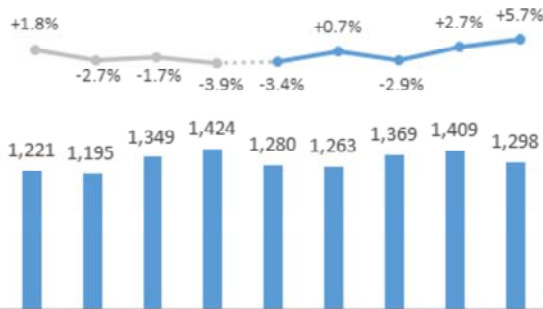


欧州・中東・アフリカ

その他

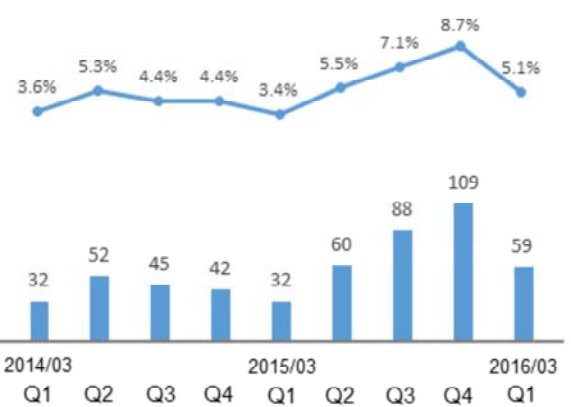
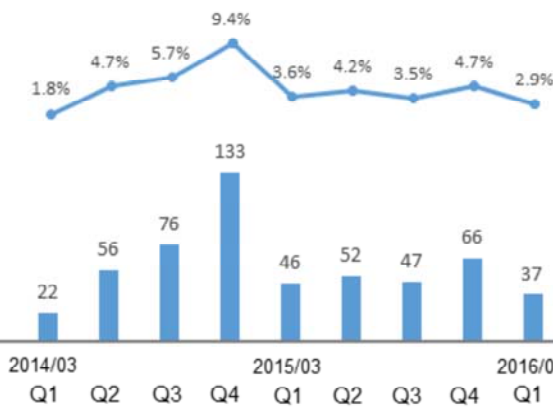
売上高

■ 売上高(億円)
● 前年同期伸び率
(為替除)



営業利益

■ 営業利益(億円)
● 営業利益率



画像 & ソリューション分野売上高 製品別構成比 *為替影響含む金額ベース比率

	FY 2014/03				FY 2015/03				FY 2016/03	FY 14/03	FY 15/03
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP	57%	52%	54%	51%	55%	52%	54%	52%	52%	53%	53%
オフィスプリンター	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%
プロダクションプリンティング(PP)	9%	10%	10%	9%	9%	10%	11%	10%	11%	9%	10%
オフィスイメージング他	5%	5%	5%	6%	5%	6%	4%	6%	6%	6%	5%
サービス事業(ドキュメント・IT)	11%	12%	12%	13%	12%	13%	13%	14%	14%	12%	13%
NSS他	9%	11%	11%	12%	10%	10%	9%	10%	9%	11%	10%

MFP・プリンター ノンハード比率 *為替影響含む金額ベース比率

		FY 2014/03				FY 2015/03				FY 2016/03	FY 14/03	FY 15/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP	国内	55%	60%	58%	48%	55%	58%	56%	46%	67%	54%	53%
	海外	56%	56%	56%	53%	56%	54%	55%	54%	56%	55%	55%
	合計	56%	57%	57%	51%	56%	55%	55%	51%	59%	55%	54%
オフィスプリンター	国内	88%	85%	87%	88%	89%	88%	91%	86%	90%	87%	88%
	海外	72%	71%	69%	71%	69%	70%	68%	66%	69%	70%	68%
	合計	80%	78%	78%	79%	78%	79%	78%	75%	79%	79%	77%
PP	国内	71%	65%	61%	54%	63%	54%	61%	52%	58%	62%	57%
	海外	62%	54%	55%	50%	62%	59%	62%	57%	58%	55%	60%
	合計	63%	56%	56%	51%	62%	58%	62%	56%	58%	56%	59%

MFP・プリンター総合計（オフィスイメージング + PP）前年同期伸び率

【ハードウェア】		FY2014/03				FY2015/03				FY2016/03	FY14/03	FY15/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP+プリンター計	国内	-3%	-7%	+3%	+10%	-2%	+7%	+0%	-6%	+4%	+1%	-1%
(オフィス+PP)	海外	+20%	+19%	+27%	+11%	+1%	+9%	+6%	+2%	+9%	+19%	+4%
	(為替除く)	-3%	-7%	+1%	-2%	-4%	+4%	-4%	-5%	+0%	-3%	-2%
	合計	+13%	+11%	+19%	+11%	+0%	+9%	+4%	-1%	+8%	+13%	+3%
	(為替除く)	-3%	-7%	+2%	+2%	-3%	+5%	-3%	-5%	+1%	-1%	-2%
【ノンハード】												
MFP+プリンター計	国内	-4%	-3%	-3%	+2%	-6%	-1%	-5%	-8%	+0%	-2%	-5%
(オフィス+PP)	海外	+24%	+29%	+24%	+6%	+2%	+5%	+6%	+5%	+6%	+20%	+4%
	(為替除く)	+0%	+1%	-2%	-6%	-3%	-0%	-3%	-1%	-1%	-2%	-2%
	合計	+13%	+16%	+13%	+5%	-0%	+3%	+2%	+1%	+4%	+11%	+1%
	(為替除く)	-1%	-1%	-2%	-3%	-4%	-1%	-4%	-3%	-1%	-2%	-3%

* オフィス向けMFP・プリンタ、カットシート・連帳PPハードウェア・ノンハード売上高合計の伸び率（ソリューション・他社仕入れ品販売等の売上は含まず）

MFP-プリンター(オフィスイメージング:MFP・オフィス向けプリンター)、プロダクションプリンター 前年同期伸び率 *金額伸び率

【ハードウェア】		FY2014/03				FY2015/03				FY2016/03	FY14/03	FY15/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP+プリンター計	国内	-2%	-6%	+3%	+10%	-3%	+6%	+1%	-6%	+2%	+2%	-1%
(オフィスイメージング)	海外	+21%	+15%	+22%	+5%	-0%	+11%	+8%	+4%	+6%	+15%	+6%
	(為替除く)	-2%	-10%	-3%	-7%	-5%	+6%	-2%	-3%	-2%	-6%	-1%
	合計	+13%	+8%	+15%	+7%	-1%	+10%	+6%	+0%	+5%	+10%	+3%
	(為替除く)	-2%	-9%	-1%	-1%	-4%	+6%	-1%	-4%	-1%	-3%	-1%
MFP	国内	-1%	-8%	+2%	+11%	-3%	+9%	+4%	-5%	+2%	+2%	+0%
	海外	+22%	+15%	+21%	+5%	-1%	+11%	+7%	+2%	+6%	+15%	+5%
	(為替除く)	-2%	-11%	-4%	-7%	-6%	+6%	-3%	-5%	-2%	-6%	-2%
	合計	+13%	+7%	+15%	+7%	-2%	+10%	+6%	-1%	+5%	+10%	+3%
	(為替除く)	-1%	-10%	-2%	-1%	-5%	+6%	-0%	-5%	-1%	-3%	-1%
オフィスプリンター	国内	-13%	+15%	+8%	+3%	-14%	-13%	-36%	-16%	+4%	+4%	-20%
	海外	+15%	+18%	+28%	+2%	+15%	+11%	+16%	+25%	+6%	+15%	+17%
	(為替除く)	-7%	-7%	+2%	-9%	+10%	+6%	+6%	+16%	-2%	-6%	+10%
	合計	+5%	+17%	+21%	+3%	+7%	+3%	+1%	+11%	+6%	+11%	+5%
	(為替除く)	-9%	+0%	+4%	-5%	+3%	-1%	-6%	+5%	-1%	-3%	+0%
PP*	国内	-29%	-22%	+2%	+7%	+21%	+23%	-23%	-12%	+20%	-9%	-2%
	海外	+11%	+46%	+67%	+59%	+13%	-2%	-8%	-9%	+26%	+46%	-3%
	(為替除く)	-10%	+15%	+34%	+39%	+8%	-7%	-17%	-17%	+16%	+20%	-10%
	合計	+4%	+32%	+54%	+48%	+14%	+1%	-10%	-10%	+25%	+35%	-3%
	(為替除く)	-14%	+8%	+27%	+32%	+10%	-3%	-18%	-16%	+17%	+14%	-9%

*カッターシート機、連帳機のハードウェア売上高合計の伸び率(ソリューション売上等は含まず)

MFP・プリンター(オフィスイメージング:MFP・オフィス向けプリンター)、プロダクションプリンター 前年同期伸び率 *金額伸び率

【ノンハード】		FY2014/03				FY2015/03				FY2016/03	FY14/03	FY15/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP+プリンター計 (オフィスイメージング)	国内	-4%	-3%	-3%	+2%	-5%	-0%	-5%	-7%	+0%	-2%	-4%
	海外	+22%	+29%	+22%	+5%	+1%	+3%	+3%	+3%	+4%	+19%	+2%
	(為替除く)	-2%	+0%	-3%	-6%	-5%	-2%	-5%	-2%	-2%	-3%	-4%
	合計	+11%	+15%	+12%	+4%	-2%	+2%	+0%	-1%	+3%	+10%	-0%
	(為替除く)	-2%	-1%	-3%	-3%	-5%	-1%	-5%	-4%	-1%	-3%	-4%
MFP	国内	-4%	-2%	-3%	-2%	-3%	-3%	-4%	-3%	-3%	-3%	-3%
	海外	+24%	+29%	+24%	+9%	-0%	+2%	+2%	+3%	+3%	+21%	+2%
	(為替除く)	+0%	+1%	-2%	-3%	-5%	-3%	-6%	-2%	-3%	-1%	-4%
	合計	+14%	+17%	+14%	+6%	-1%	+1%	+0%	+1%	+1%	+12%	+0%
	(為替除く)	-1%	+0%	-2%	-3%	-5%	-3%	-5%	-2%	-3%	-2%	-4%
オフィスプリンター	国内	-4%	-5%	-3%	+10%	-11%	+7%	-7%	-14%	+11%	-0%	-7%
	海外	+11%	+25%	+13%	-14%	+6%	+6%	+7%	-0%	+8%	+6%	+5%
	(為替除く)	-11%	-3%	-10%	-24%	+0%	+2%	-1%	-4%	+2%	-13%	-1%
	合計	+2%	+7%	+4%	-1%	-3%	+7%	-0%	-8%	+9%	+3%	-2%
	(為替除く)	-7%	-4%	-6%	-6%	-6%	+4%	-4%	-10%	+6%	-6%	-4%
PP*	国内	-1%	+4%	+2%	+4%	-15%	-20%	-20%	-18%	+1%	+2%	-18%
	海外	+38%	+31%	+36%	+10%	+16%	+19%	+22%	+19%	+17%	+27%	+19%
	(為替除く)	+12%	+3%	+8%	-3%	+10%	+13%	+11%	+10%	+7%	+4%	+11%
	合計	+29%	+25%	+29%	+9%	+10%	+12%	+15%	+13%	+15%	+22%	+13%
	(為替除く)	+9%	+3%	+7%	-2%	+6%	+7%	+6%	+5%	+6%	+4%	+6%

*カットシート機、連帳機のノンハード売上高合計の伸び率(ソリューション売上等は含まず)

MFP・プリンター カラー比率 *ハードウェア出荷、金額ベース

		FY2014/03				FY2015/03				FY2016/03	FY14/03	FY15/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP	国内	76%	80%	85%	80%	85%	85%	87%	85%	90%	80%	86%
	海外	54%	52%	58%	61%	62%	61%	63%	64%	65%	57%	62%
	合計	61%	60%	67%	68%	70%	68%	70%	71%	70%	64%	70%
オフィスプリンター	国内	47%	41%	42%	44%	49%	47%	36%	45%	45%	43%	45%
	海外	32%	33%	31%	34%	31%	39%	38%	38%	37%	33%	36%
	合計	36%	36%	34%	38%	35%	41%	37%	40%	39%	36%	38%
PP	国内	31%	29%	27%	32%	32%	34%	27%	25%	42%	30%	29%
	海外	56%	62%	66%	69%	65%	63%	67%	69%	68%	64%	66%
	合計	53%	58%	60%	64%	60%	59%	62%	63%	64%	59%	61%

期末従業員数 *各期末時点(単位:名)

		FY12/03	FY13/03	FY14/03	FY15/03	FY16/03
		Q1				
日本		38,519	37,401	36,873	36,371	36,698
海外	米州	33,262	31,475	31,853	31,766	31,384
	欧州・中東・アフリカ	17,637	18,229	18,422	18,525	18,535
	中国	11,960	12,094	11,932	12,856	12,727
	アジア・パシフィック	7,864	8,232	9,115	10,433	10,407
	小計	70,723	70,030	71,322	73,580	73,053
合計		109,242	107,431	108,195	109,951	109,751



RICOH
imagine. change.

<http://jp.ricoh.com/IR/>

<主なQ&A>

Q: Q1の営業利益の未達に対し、今期どのようにリカバーしていくのか？

A: 市場稼働台数の拡大に伴いノンハードの減収幅が縮小してきた。

これを加速し確実に増収にしていく。

この他、産業分野の増益の継続や経費抑制などあらゆる施策を進めて通期計画を達成する。

Q: 上期の営業利益計画を据え置いている。

Q2の営業利益が約420億円とかなり高い水準になるが達成できるのか？

A: Q1の決算を受けて、通常オペレーションの改善の他、様々な施策の効果を積み上げた結果としてQ2の営業利益見通しを出しており、達成可能と考えている。

Q: Q1増減益分析の販売・MIXのマイナス63億円の内訳は？

A: 相対的にミドル～ローエンド製品比率の高い欧州、その他地域の販売が好調だった一方、カラー比率の高い日本やミドル～ハイエンド製品比率の高い米国での販売が想定より低調に推移した。これによるMIX悪化と、さらに市場稼働台数増のため積極的な製品拡販を行ったことで粗利率が低下した。

今後、Q1で増加させた稼働台数分を含め、さらなるプリントボリューム増加と原価低減により確実に収益性を向上させていく。

Q: 製品原価低減は計画どおりとのことだが、通期計画の100億円からは低い水準に見えるか？

A: 下期に向けてA3カラー、モノクロMFPなど、高単価商品の販売拡大を想定している。